

令和6年4月1日

市政記者クラブ 様

上下水道局経営企画課
担当：諏訪、加藤
電話：972-3615

水の歴史資料館に対して再生可能エネルギー100%電力を導入します

令和6年度より、当局の見学施設である水の歴史資料館にて、下記のとおり再生可能エネルギー100%電力*による電力契約を開始します。

※再生可能エネルギー100%電力…太陽光・風力・水力などの発電する際に温室効果ガスを排出しないエネルギーのみによって発電された電力

記

1. 趣 旨

温室効果ガス排出量削減および再生可能エネルギーの拡大を図るため、令和6年度より、当局の見学施設である水の歴史資料館に対して再生可能エネルギー100%電力を導入します。

2. 導入施設

水の歴史資料館

(<https://www.water.city.nagoya.jp/shiryokan/>)

3. 導入開始時期

令和6年4月1日（月） から

4. そ の 他

・本件や当局の環境活動に関するポスターを、当局施設及び名古屋市の関連施設に掲示します。（別紙参照）

・当局は、再生可能エネルギーの有効活用や省エネルギー型機器の導入など、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。当局の詳しい取り組み内容については局公式ウェブサイトをご覧ください。

(https://www.water.city.nagoya.jp/category/csr_report/141145.html)

これからも 伝え続けたいから。

名古屋市上下水道局「水の歴史資料館」は環境にやさしい再生可能エネルギー100%電力を使用しています。

水の歴史資料館は名古屋市の上下水道事業の歴史や役割についてそして防災について、分かりやすく学べる資料館です。

資料館展示物「昭和5年（1930年）頃の立ち上がり水栓」

水の恵みをもたらす地球環境を次世代にも引き継ぐために
名古屋市上下水道局は環境にやさしい取組みを推進しています。

エネルギーをへらす

効率よく水道水を届けたり下水を処理することによって使用するエネルギーをへらしています。

エネルギーをつくる

太陽光発電設備の導入や下水熱の有効利用によって温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーをつくっています。

エネルギーを変える

電動車を導入し自動車の燃料をガソリンから電気に変えたり建物で使う電気を温室効果ガスを出さないクリーンな電気に変えています。



水の歴史資料館に関する詳しい情報は、右記、二次元コードよりご確認ください。

